

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年7月15日
【四半期会計期間】	第59期第1四半期（自 2020年3月1日 至 2020年5月31日）
【会社名】	ツインバード工業株式会社
【英訳名】	TWINBIRD CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 野水 重明
【本店の所在の場所】	新潟県燕市吉田西太田字潟向2084番地2
【電話番号】	0256(92)6111(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員管理本部長 高木 哲也
【最寄りの連絡場所】	新潟県燕市吉田西太田字潟向2084番地2
【電話番号】	0256(92)6111(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員管理本部長 高木 哲也
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) ツインバード工業株式会社東京支社 (東京都中央区日本橋小伝馬町14番4号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第58期 第1四半期連結 累計期間	第59期 第1四半期連結 累計期間	第58期
会計期間	自2019年3月1日 至2019年5月31日	自2020年3月1日 至2020年5月31日	自2019年3月1日 至2020年2月29日
売上高 (千円)	2,626,018	2,315,088	12,159,089
経常利益又は経常損失 ( ) (千円)	227,375	182,322	66,589
親会社株主に帰属する四半期(当期)純損失 (千円)	163,874	137,401	133,882
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	235,813	88,216	83,086
純資産額 (千円)	6,196,762	6,162,253	6,322,483
総資産額 (千円)	11,797,646	10,906,484	11,582,419
1株当たり四半期(当期)純損失 (円)	18.76	15.73	15.32
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	52.5	56.5	54.6

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、1株当たり四半期(当期)純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 「役員向け株式交付信託」に残存する自社の株式は、1株当たり四半期(当期)純損失金額の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績の分析

当社グループの当第1四半期連結累計期間における売上高は2,315百万円となり、前年同期比310百万円の減収（増減率 11.8%）となりました。家電量販市場におきましては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言を受けて、量販店の一部店舗が当第1四半期連結会計期間の一時期において閉店しました。これによる来客人数の減少や流通在庫の調整などの影響を受けました。一方、巣ごもり需要が拡大し、全自動コーヒーメーカーなどの調理家電がポイントサービス市場やEC市場で好調に推移しております。

利益面につきまして売上高は減収となりましたが、収益性の高い商品への販売重点化や原価低減活動の効果により売上総利益率は前第1四半期連結累計期間に比べて大幅に改善（+5.8pt）しており、損失額を圧縮しております。その結果、営業損失は139百万円、経常損失は182百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は137百万円となりました。

当社グループの四半期業績の特性について

当社グループは、年末年始商戦や新生活商戦における販売需要が最も多くなるため業績に季節的変動があり、売上高及び利益は第4四半期連結会計期間に集中する傾向があります。

#### (2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は10,906百万円となり、前期末比675百万円減少いたしました。主な内訳は、現金及び預金が520百万円の増加、受取手形及び売掛金が1,123百万円の減少、商品及び製品が138百万円の減少であります。

負債は4,744百万円となり、前期末比515百万円減少いたしました。主な内訳は、一年内返済予定の長期借入金が73百万円の減少、長期借入金が194百万円の減少、未払消費税等が127百万円の減少であります。

純資産は6,162百万円となり、前期末比160百万円減少いたしました。親会社株主に帰属する四半期純損失の計上や前期末配当などにより利益剰余金が209百万円減少しております。

新型コロナウイルスによる事業環境リスクを考慮し、十分な手元流動性を確保する一方、総資産の圧縮効果によって有利子負債を圧縮しております。その結果、自己資本比率は前連結会計年度末比+1.9ptと改善し、56.5%となりました。

#### (3) 経営方針・経営戦略等

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

#### (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (5) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における研究開発活動の金額は、114百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社の研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 3【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	34,000,000
計	34,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (2020年5月31日)	提出日現在発行数(株) (2020年7月15日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	9,030,000	9,030,000	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数 100株
計	9,030,000	9,030,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年3月1日～ 2020年5月31日	-	9,030,000	-	1,742,400	-	1,748,600

##### (5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2020年2月29日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年5月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 28,200	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,999,800	89,998	-
単元未満株式	普通株式 2,000	-	-
発行済株式総数	9,030,000	-	-
総株主の議決権	-	89,998	-

- (注) 1. 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、役員向け株式交付信託が保有する当社株式264,300株(議決権の数2,643個)が含まれております。
2. 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式92株並びに役員向け株式交付信託が保有する当社株式31株が含まれております。

【自己株式等】

2020年5月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
ツインバード工業(株)	新潟県燕市吉田西太田字潟向2084-2	28,200	-	28,200	0.31
計	-	28,200	-	28,200	0.31

(注) 役員向け株式交付信託が保有する当社株式は、含まれておりません。

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日から当四半期四半期報告書提出日までにおいて役員の異動はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2020年3月1日から2020年5月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（2020年3月1日から2020年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、太陽有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,066,255	1,586,511
受取手形及び売掛金	2,402,568	1,279,141
商品及び製品	2,542,768	2,404,084
仕掛品	309,782	301,268
原材料及び貯蔵品	292,751	319,518
その他	211,472	183,850
貸倒引当金	6,396	6,106
流動資産合計	6,819,201	6,068,268
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	4,381,823	4,381,893
減価償却累計額	3,172,640	3,191,533
建物及び構築物(純額)	1,209,182	1,190,359
機械及び装置	587,824	587,824
減価償却累計額	541,289	542,491
機械及び装置(純額)	46,534	45,332
金型	1,652,067	1,655,614
減価償却累計額	1,461,297	1,484,399
金型(純額)	190,769	171,214
工具、器具及び備品	510,226	518,066
減価償却累計額	431,451	435,476
工具、器具及び備品(純額)	78,775	82,590
土地	2,056,499	2,056,499
建設仮勘定	1,567	19,466
その他	1,395,825	1,398,112
減価償却累計額	1,156,949	1,176,209
その他(純額)	238,875	221,903
有形固定資産合計	3,822,204	3,787,365
無形固定資産	296,220	291,003
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	431,424	482,486
その他	232,456	308,700
貸倒引当金	19,088	31,339
投資その他の資産合計	644,792	759,847
固定資産合計	4,763,217	4,838,216
資産合計	11,582,419	10,906,484

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	205,106	154,656
短期借入金	1,100,000	1,100,000
1年内返済予定の長期借入金	961,504	887,882
リース債務	114,005	105,582
未払法人税等	21,649	0
未払消費税等	179,285	51,540
賞与引当金	49,354	0
株主優待引当金	1,738	1,738
製品補修対策引当金	6,191	11,631
その他	389,921	440,484
流動負債合計	3,028,757	2,753,515
固定負債		
長期借入金	1,587,000	1,392,510
リース債務	345,475	320,670
退職給付に係る負債	204,301	177,718
役員株式給付引当金	38,880	42,180
資産除去債務	20,100	20,100
その他	35,421	37,535
固定負債合計	2,231,179	1,990,715
負債合計	5,259,936	4,744,231
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,742,400	1,742,400
資本剰余金	1,834,238	1,834,238
利益剰余金	2,877,165	2,667,751
自己株式	118,345	118,345
株主資本合計	6,335,457	6,126,043
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	62,570	19,794
繰延ヘッジ損益	42,656	50,057
為替換算調整勘定	29,779	28,177
退職給付に係る調整累計額	22,839	22,230
その他の包括利益累計額合計	12,974	36,209
純資産合計	6,322,483	6,162,253
負債純資産合計	11,582,419	10,906,484



## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
売上高	2,626,018	2,315,088
売上原価	1,989,726	1,620,559
売上総利益	636,291	694,529
販売費及び一般管理費	821,855	834,084
営業損失( )	185,563	139,555
営業外収益		
受取利息	43	48
受取配当金	551	558
業務受託料	600	600
業務委託収入	-	4,239
補助金収入	3,512	16
その他	4,591	1,235
営業外収益合計	9,298	6,697
営業外費用		
支払利息	5,325	5,007
売上割引	39,161	39,022
為替差損	5,963	4,421
業務委託費用	-	990
その他	657	22
営業外費用合計	51,109	49,464
経常損失( )	227,375	182,322
特別損失		
固定資産処分損	1,966	76
特別損失合計	1,966	76
税金等調整前四半期純損失( )	229,341	182,399
法人税等	65,467	44,998
四半期純損失( )	163,874	137,401
親会社株主に帰属する四半期純損失( )	163,874	137,401

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
四半期純損失( )	163,874	137,401
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	37,749	42,776
繰延ヘッジ損益	35,425	7,401
為替換算調整勘定	1,192	1,602
退職給付に係る調整額	42	608
その他の包括利益合計	71,938	49,184
四半期包括利益	235,813	88,216
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	235,813	88,216

【注記事項】

( 四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理 )

( 税金費用の計算 )

税金費用については、当第 1 四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

( 追加情報 )

( 会計上の見積りをおこなう上での新型コロナウイルス感染症の影響の考え方 )

新型コロナウイルスの感染拡大について、本感染症は経済、企業活動及び消費活動に広範な影響を与える事象であります。しかしながら、現時点では本感染症の今後の広がり方や収束時期等を予想することは困難なことから、今後、当第 1 四半期連結累計期間と同程度の影響が継続するとの仮定のもと、会計上の見積りをおこなっております。

( 四半期連結貸借対照表関係 )

該当事項はありません。

( 四半期連結損益計算書関係 )

該当事項はありません。

( 四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係 )

当第 1 四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第 1 四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第 1 四半期連結累計期間 ( 自 2019年 3月 1日 至 2019年 5月 31日 )	当第 1 四半期連結累計期間 ( 自 2020年 3月 1日 至 2020年 5月 31日 )
減価償却費	116,358千円	83,444千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月29日 定時株主総会	普通株式	72,013	8.0	2019年2月28日	2019年5月30日	利益剰余金

(注) 2019年5月29日定時株主総会決議に基づく配当金の総額には、役員向け株式交付信託が保有する当社株式に対する配当金2,114千円が含まれております。

(2) 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間末後となるもの  
 該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年5月22日 定時株主総会	普通株式	72,013	8.0	2020年2月29日	2020年5月25日	利益剰余金

(注) 2020年5月22日定時株主総会決議に基づく配当金の総額には、役員向け株式交付信託が保有する当社株式に対する配当金2,114千円が含まれております。

(2) 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間末後となるもの  
 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)

当社グループは、報告セグメントが家電製品事業のみであり、当社の業績における「その他」の重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)

当社グループは、報告セグメントが家電製品事業のみであり、当社の業績における「その他」の重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
1株当たり四半期純損失( )	18円76銭	15円73銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純損失( ) (千円)	163,874	137,401
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 損失( )(千円)	163,874	137,401
普通株式の期中平均株式数(株)	8,737,377	8,737,377

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり四半期純損失( )の算定上、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(前第1四半期連結累計期間264,331株、当第1四半期連結累計期間264,331株)。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年7月15日

ツインバード工業株式会社

取締役会 御中

太陽有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 藤本 浩巳 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 丸田 力也 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているツインバード工業株式会社の2020年3月1日から2021年2月28日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2020年3月1日から2020年5月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（2020年3月1日から2020年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ツインバード工業株式会社及び連結子会社の2020年5月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。  
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。